

10月議会

保育所給食アレルギー食への対応について

さかの光雄議員が要望



保育所の給食を代替食で対応している先進市（枚方市）を関係担当者などで視察に行き、代替食の提供方法や誤食を防ぐためのマニュアルの説明を受け、代替食の勉強を行っている。今後、担当者で検討委員会を立ち上げ、「食物アレルギーの対応のしおり」をつくる、保育士・看護師・調理員がアレルギー食について勉強を行っている。また、全面的な変更は、誤食の危険性があるので、一部の食

保育所給食のアレルギー食において、交野市はアレルギー物の除去食で対応しています。しかし、保護者から、除去食でなく代替食の要望が出されています。さかの光雄議員は、昨年10月の決算委員会から代替食への対応を求めてきました。10月議会で、市のこの間の取り組みについて、質問しました。市の答弁は次の通りでした。

市答弁

保育所の給食を代替食で対応している先進市（枚方市）を関係担当者などで視察に行き、代替食の提供方法や誤食を防ぐためのマニュアルの説明を受け、代替食の勉強を行っている。今後、担当者で検討委員会を立ち上げ、「食物アレルギーの対応のしおり」をつくる、保育士・看護師・調理員がアレルギー食について勉強を行っている。また、全面的な変更は、誤食の危険性があるので、一部の食

材について、代替食で提供していただけるようにしたい。まだまだ少しですが、前向きな取り組みが始まりました。しかし保護者は、預けている子どもにすぐに実施してほしいとの思いです。今後、早急な実施を求めていきます。

弁護士相談

☆日時 11月18日（木）
午後3時～5時
☆場所 交野市役所 3階
(日本共産党議員団控室)

順番等がありますので事前にお電話ください。

☎892-0121
(内線 301)



夏休みのプール開放 減らさないで！

さらがいふみ議員が要望

夏休みの学校プール開放が、今年はずから5日間 昨年は9日間実施に減らされてしまいました。市はさらが、来年から監視員の予算を打ち切り、学校任せにしてしまおうとしています。

夏休みの楽しみまで・・・

学校のプール開放は、学校による水泳教室（泳げない子の補習など）とは別に、市が監視員の予算（10校で約160万円）をつけて、各小学校で9～10日間にわたって開催してきました。

た。昨年度は約1万3千人の児童が参加しています。

しかし、今年はずから5日間に減らされ、「子どもが遊びに

市の責任で開放日数の確保を

市は、監視員をなくして、学校による開催を増やすと説明してきました。しかし、いま先生は多忙で、夏休み中も様々な研修や作業に追われ、学校だけでプール開放を行うのは無理があります。さらがいふみ議員は、「学校で対応できない分は、市が責任をもって監視員を継続し、開放の日数を確保すべきだ」と求めました。

また、学校の水泳教室は泳げない子中心の水泳指導に限定する方向であることから、これまで通り、全児童が参加できる自由遊びのプール開放を実施するよう要望しました。



●夏休みの学校プール開放の実施回数

(学校の水泳教室は含まない)

年度	10小学校の合計(回)			1校あたり平均(回)	
	午前	午後	計 *	午前	午後
H22	47	50	97 (10)	4.7	5
H21	59	90	149 (20)	5.9	9
H20	62	89	151 (30)	6.2	8.9
H19	71	100	171	7.1	10

*回数は、実施を予定していた回数。そのうち、雨天中止になった回数を()内に表示。